

2011

ANNUAL REPORT

アクサ ジャパン ホールディングの現状



redefining / standards



# Strategic Narratives

## ストラテジック ナラティブ

AXAのビジネスの根幹にあるもの

### → Strategy

AXAのビジネスは、損害保険、生命保険・貯蓄、資産運用という3つの分野から成り立っています。私たちの戦略とそのビジネスモデルがもたらしてきた実績は、その有効性を証明するものであり、AXAが向かうべき方向性を示しています。

AXAはこれまで、確固たる戦略的決断を行い、次のような強みを築いてきました。

これらは今日、私たちのビジネスの源泉となっています。

- ・事業を展開する各国の市場における強固なポジション
- ・多様な営業チャネル
- ・リスク管理における優れたノウハウ
- ・効率的な事業運営
- ・人材育成を重視する姿勢
- ・3つのコア・アティチュード (available, attentive, reliable)

### → Vision

AXAのアンビションは、私たちの主要なステークホルダーである、お客さま、ディストリビューター、社員、株主、そして社会から、“選ばれる企業”になることです。この目的を達成するためにAXAは、真の意味での差別化を図り、主要なステークホルダーから寄せられている信頼を損なうことなく、私たちのビジネスにおける新しい基準をつくっていきます (redefining/standards)。

### → Value

すべてのAXAの社員は、常に次の5つのバリューに基づいて行動します。  
プロフェッショナリズム、革新性、現実的な考察力、チームスピリット、誠実  
AXAのバリューは、世界中のAXAの社員によって、日々実践されています。

### → Responsibility

私たちのビジネスは、長期にわたって人々の生活をお守りするというものです。したがって、私たちの持つスキルやリソース、リスクに関する専門知識を活用し、より安全で安定した社会を築くために貢献していく責任があります。

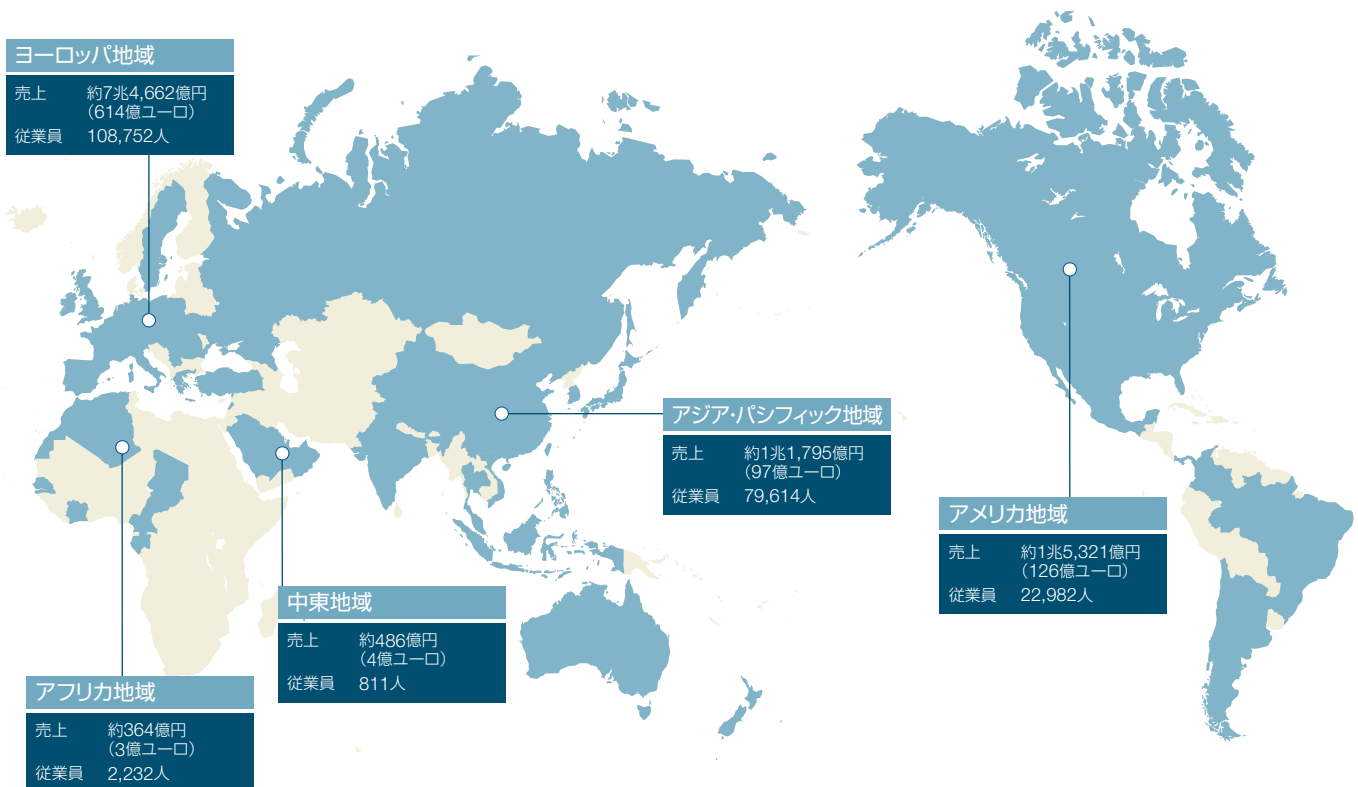
私たちの企業としての社会的責任とは、お客さまに対してはそのニーズに真摯に耳を傾けること、株主に対しては責任を持ってリスクを管理すること、ビジネスパートナーに対しては公正に接すること、そして社員に対しては信頼と多様性、AXAのバリューを尊重する職場環境を構築することです。また、環境の保護においてもその役割を果たし、社会やコミュニティーに対しても支援を提供していきます。

### → Mission

AXAは、お客さまのご家族や財産をリスクからお守りし、貯蓄や資産を大切に管理することによって、お客さまの人生に安心をご提供します。

日々移り変わる人生には、さまざまな困難が起こり得ます。AXAの社員はそんな時、お客さまのそばにいて、新たなチャレンジと将来への備えをサポートします。

AXAは1817年にフランスで生まれ、  
世界61の国と地域、約9,500万人のお客さまから信頼をいただいている  
世界最大級の保険・資産運用グループです。



世界に 約 **9,500** 万人の  
お客さま

総売上 約 **11兆621** 億円  
(約910億ユーロ)

世界に 約 **21** 万4,000人の従業員

運用資産総額 約 **120兆1,152** 億円  
(約1兆1,040億ユーロ)

S&P 保険財務力格付け **AA-**

アンダーライニング・  
アーニングス  
(基本利益) 約 **4,718** 億円  
(約39億ユーロ)

世界 **61** の国と地域で  
事業展開

純利益 約 **3,342** 億円  
(約27億ユーロ)

数値は2010年 AXAグループ実績

※ 換算レート

総売上、売上、アンダーライニング・アーニングス、純利益：1ユーロ=¥121.60(2010年平均)

運用資産総額：1ユーロ=¥108.80(2010年12月末)

※ アンダーライニング・アーニングス(基本利益)とは、アジャステッド・アーニングス(調整後利益=非恒常的取引による影響額とグループ全体の営業権償却額を除いた純利益のグループ持分)から株主に帰属するネット・キャピタルゲインおよび2001年9月11日の米国同時多発テロによる影響を除いたものです。

※ 標記の格付けはアクサ生命の格付けではありません。2011年6月30日時点のAXAグループの主要な子会社に対する格付機関の評価であり、保険金支払等について保証を行うものではありません。また、将来的には変化する可能性があります。なお、上記の格付機関(スタンダード&プアーズ・レーティング・サービズ)は、日本において金融商品取引法第66条の27に基づく登録を行った信用格付業者ではありません。

<b>03</b>	CEOメッセージ
<b>04</b>	AXAグループの日本における事業展開
<b>06</b>	アクサ ジャパン ホールディングのCR経営
<b>07</b>	CR経営を支える基本的な取り組み
<b>08</b>	お客様の声を経営に活かす取り組み
<b>08</b>	魅力ある職場づくりのための取り組み
<b>09</b>	コミュニティの発展に貢献するための取り組み
<b>09</b>	ビジョンを共有して、責任ある輪を広げる
<b>10</b>	環境を守り、育てていくための取り組み
<b>11</b>	資料編
	11_ I 経営方針
	11_ II 保険持株会社の概況及び組織
	14_ III 保険持株会社及びその子会社等の概況
	15_ IV 保険持株会社及びその子会社等の主要な業務
	17_ V 保険持株会社及びその保険子会社の財産の状況



“

お客さまに的確なアドバイス、  
適切なソリューションをお届けし、  
安心と安全をご提供できるよう、  
常にサービスの質の向上に努めてまいります

”

東日本大震災と大津波、そして原子力発電所の事故と、2010年度は私たちにとって忘れられない年となりました。アクサ ジャパン ホールディングの全社員を代表して、震災によって被害を受けた皆さまに心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたしております。

今回の震災を受けて保険分野を担当する主要子会社では、被災されたお客さまをご支援すべく全力を挙げて対応にあたってまいりました。専用の受付窓口を設けると同時に、保険金・給付金の支払い手続きの簡素化などの特別措置によって、迅速にお支払いができる制度を設けるとともに、バックアップオフィスを設置して、いかなる状況においてもお客さまのご要望にお応えし続けることのできる体制を整えました。また、被災されたお客さまに確実に保険金・給付金をお届けできるよう、お客さまへの訪問活動を継続して行っております。

また、被災地域の支援活動といたしまして、日ごろからお付き合いをいただいているビジネスパートナーやNGOの方々を通じ、総額1億3,000万円の支援を行いました。

このような困難なときこそ私たちの真価が問われる時と、社員一同、被災地域のお客さまへの対応に全力を尽くしてまいりました。この場をお借りして、社員ひとりひとりの努力に対して感謝の意を表したいと思います。

2010年度、アクサ ジャパン ホールディングは連結純利益が786億円となり、前年度の361億円より大幅な増益となりました。これは主に、中核子会社であるアクサ生命の有価証券等の売却益による増益が寄与したものです。株主配当につきましては、創業以来初となる1株当たり6,400円、総額502億円を実施いたしました。

主要子会社の2010年度の概況は、以下のとおりです。

アクサ生命は、震災による保険金等の支払い見込み額として106億円を計上した結果、基礎利益は19.9%減益の434億円となりましたが、震災の影響を除くと526億円と、前年度と同様の水準を確保しております。また、厳格なALM に基づく堅実なリスク管理を徹底し、株式市場の影響を回避することで、1,042.1%のソルベンシーマージンを確保するとともに、強固な資本基盤を堅持いたしております。

アクサ ジャパン ホールディング株式会社  
取締役 代表執行役社長 兼 CEO  
ジャン=ルイ・ローラン・ジョシ



ネクスティア生命は、日本初のネット専門の生命保険会社として、一連の手続きをインターネット上で完結できるサービスをお客さまにご提供することで、急速な成長を遂げてまいりました。2010年度は約13,800件の新規契約をいただき、保有契約件数は創業3年目にして約27,000件となりました。

アクサ損害保険は、元受正味保険料が前年度比7.7%の増収の340億円となるなど、保険料等収入が引き続き増加いたしました。今年度、約16万5千件の新規契約を獲得し、保有契約件数は75万件を超えました。

また2010年度は内部統制の強化にも注力し、7月にはその一環として、経営の監督と業務執行をより明確に分離した委員会設置会社への移行を果たしました。この決定は、より迅速な経営の意思決定と業務遂行の実現に向けた大きな一歩であったと自負いたしております。

保険会社の使命は、予期せぬ出来事からお客さまをお守りすることに他なりません。このたびの震災では、私たちに課せられた使命と社会的な責任の重さを改めて強く認識いたしました。この使命を全うすべく、私たちはこれまで以上に、お客さまに的確なアドバイス、適切なソリューションをお届けし、安心と安全をご提供できるよう、常にサービスの質の向上に努めてまいり所存でございます。

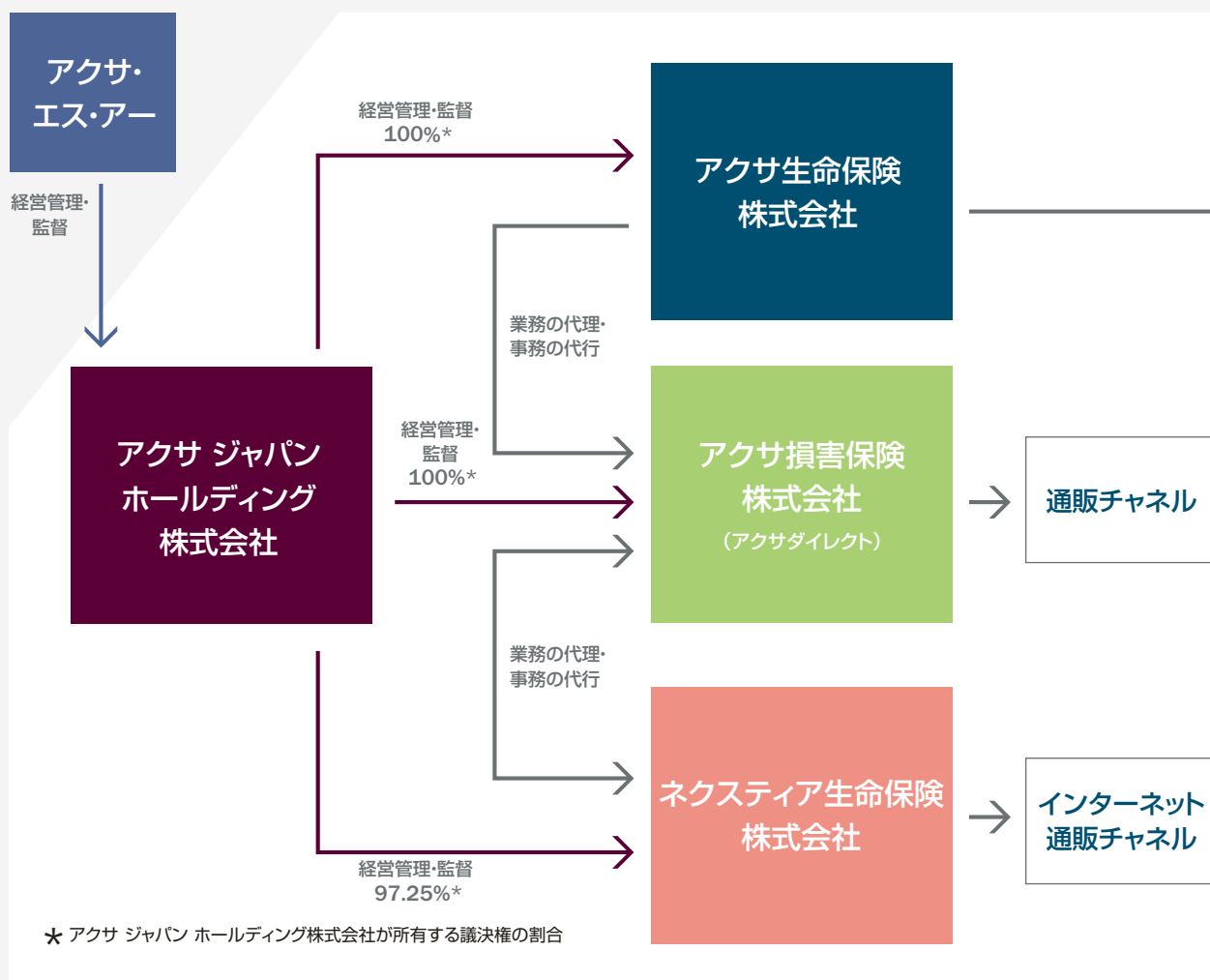
アクサ ジャパン ホールディングは今後も、あらゆるステークホルダーの皆さまとの信頼関係を築くことで、全社一丸となって、「選ばれた企業」となることを目指してまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# AXAグループの日本における事業展開

AXAグループは日本において、保険、資産運用、アシスタンスなど、  
 フィナンシャル・プロテクションに関するさまざまな分野で事業を展開しています。  
 保険分野を担当する4社を中心に、AXAメンバーカンパニーとも密接に連携し、  
 お客様の一生涯をサポートする商品・サービスを提供しています。



↑ 連携

## その他のAXAメンバーカンパニー

### 資産運用サービス

- アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
- アライアンス・バーンスタイン株式会社

### 不動産投資・資産管理サービス

- アクサ・リアル・エステート・インベストメント・マネージャーズ・ジャパン株式会社

### アシスタンスサービス

- アクサ・アシスタンス・ジャパン株式会社

## 幅広い販売チャネルで、お客さまに最適なソリューションをご提供します

お客さまの特性に応じた販売チャネルを通じ、商品・サービスをご提供しています。  
各チャネルには、専門の教育を受けた社員を配置し、お客さまのニーズに最適なソリューションでお応えします。

### 専属営業社員による販売チャネル

#### アクサ CCI チャンネル

全国各地の商工会議所・商工会と連携し、その会員事業所である上場企業、中小企業、個人事業主の方々の、リスク対策、事業承継対策、従業員の福利厚生制度などをサポートし、最適なソリューションをご提案しています。

#### アクサ FA チャンネル

専門のトレーニングを受けたプロフェッショナルなフィナンシャルプラン アドバイザーがお客さまの夢や不安を一つひとつお伺いし、一生にわたる収支を明確にしたうえで、豊富な商品ラインナップからライフスタイルにあった最適な保障プランを提案します。アクサ生命は、毎年3万件以上のライフプランをお客さまとともに作成しています。

#### アクサ FS チャンネル

女性のお客さまと同じ目線でアドバイスができる専門の女性営業社員を配置し、付加価値の高い女性向けコンサルティングサービス\*を提供しています。

##### ■女性専用サロン型店舗

働く女性のことを考え、仕事帰りの時間や土日に利用できる女性専用店舗を東京・新宿のオフィス街に開設しました。ゆったりとしたサロン型のスペースで、女性特有の病気や身の回りのリスクなどを含めてお客さまの本当の悩みや不安を理解し、的確なアドバイスを行っています。

\* 東京、神奈川、千葉、埼玉在住の方に限定

### 保険代理店を通じた販売チャネル

#### アクサ エージェント チャンネル

保険専門代理店、税理士や公認会計士、保険ショップなど、全国約3,000の保険代理店を通じ、個人・法人のお客さまに、リスクマネジメントやコンサルティングのサービスを提供しています。

### 企業・団体に向けた販売チャネル

#### アクサ コーポレート チャンネル

企業や官公庁、組合などの団体に向け、福利厚生制度の導入をサポートしています。1,700を超える企業・団体の従業員とご家族、退職者をお客さまとして、それぞれのニーズにあった最適なソリューションを提案しています。

### 金融機関での窓口販売チャネル

#### アクサ金融法人 チャンネル

銀行や証券会社などの金融機関を通じ、変額個人年金保険など資産形成型商品の窓口販売を行っています。

# アクサ ジャパン ホールディングのCR経営

フィナンシャル・プロテクションを提供する私たちのビジネスは、人々の暮らしに安心と安全をもたらし、社会の持続的な発展をサポートするという社会的に重要な役割を担っています。

アクサ ジャパン ホールディングの考えるコーポレートレスポンシビリティ(CR)とは、こうした社会的な役割を、企業として責任ある行動をとることで果たしていくこと。

そして、私たちのコアビジネスを通じて蓄積してきたリスク管理の専門家としてのスキルやノウハウを活かし、経済の持続的な発展や社会の利益に貢献していくこと。

アクサ ジャパン ホールディングでは、こうしたCRの視点を日々のビジネスのなかに組み込み、企業文化の一部として浸透させていくことによって、アクサ ジャパン ホールディングに関わるすべての方々から信頼され、選ばれる企業となることができると考え、その実現に向けて日々努力し続けています。

## 主要なステークホルダー

私たちのビジネスは、日々さまざまなステークホルダーの方々との関わりあうことにより成り立っています。

アクサ ジャパン ホールディングでは、自身の主要なステークホルダーとして「株主」「お客さま」「社員」「環境」「コミュニティ」「サプライヤー」を掲げ、それぞれのステークホルダーの方々に対し、責任ある企業としての役割を果たす努力を続けています。

▶ 次ページから具体的な取り組みを紹介していきます

